

地域活動充実支援事業

(手柄地区)

No. 7 2020.9

手柄地区において、行政と地域がともに考え行動していく地域活動充実支援事業についてお知らせします。

第7回手柄地区地域活動充実支援事業 ミーティング

会議概要

日時	場所
令和2年9月27日(日) 13:30~15:00	姫路市立手柄公民館 2階会議室

出席者(順不同) 自治会役員、地域活動団体等 約50名

議題

- ・「創立150周年記念・手柄小学校沿革誌」の概略披露

議事内容/結果

1 開会

会長挨拶

- ・地域活動充実支援事業の紹介と現状説明
- ・本日の講義内容の紹介と手柄小学校の150周年が間近いことの説明

2 講義「手柄小学校沿革誌」について(浪花 孝治氏)

○「沿革誌」への思い

歴史、郷土史に興味を持って活動する中で小学校の沿革誌について、目を付けていた。

○「沿革誌」との出会い

PTAの立場で、沿革誌を実際に見る機会があった。

○活字化への流れ

平成25年手柄地区連合自治会長就任の条件の一つとして、沿革誌を活字化することを挙げていた。
平成26年以降約7年掛けて、活字化に向けて何度も校正を行っている。

○「沿革誌」の内容

- ・昭和20年の空襲等を乗り越え、現存していることが奇跡。
- ・おおよそB5版の大きさ、現在、其の四までの四分冊有り、今回は、其の一及び其の二(明治6年~昭和60年代まで)の記録を活字化予定。
- ・沿革誌に掲載されている内容で、当時重要視されていた事項が分かる・・・戦前は教育勅語、御眞影等の記載多数。

○「沿革誌」から見る手柄小学校の姿

- ・創設当初は設置の布告はあるが、地元が費用を出して建築している。当初校名は、飾術学校。

- ・明治10年に洋風校舎を建築したが、火災により「烏有に帰し」（焼失）、三和寺に移転し、校名は勲山小學校（これで、「てがらやましょうがっこう」と読んだのでは）に改名。
- ・「尚齒会」の発足時（明治42年）の記載も有り。
- ・草創期の教員、村長等に見覚えのある氏名も出てくる。
- ・昭和20年7月4日の空襲で再び校舎が「烏有に帰す」（焼失）。焼失を免れた便所は昭和40年頃まで残存した。
- ・以前、学校関係者に無いと聞いていた校訓も記載されていた。

○そして、創立百五十周年！

- ・少学校旧跡等の建碑を。
- ・出版物についても「手柄小學校沿革誌」、「手柄小學校創立百五十周年誌」等々の発刊を。

3. 講演を聞いて

- ・校長：手柄小學校沿革誌の発刊等協力できるところは協力させていただきます。沿革誌の概略内容を聞いて、校訓など様々な新しい気付きがありました。ありがとうございました。
- ・PTA：3年後の150周年に向けて何ができるのか、考えていきたい。子供達の記憶に残るように企画立案し実行したい。令和3年度中に、「150周年委員会」を立ち上げます。
- ・参加者：「手柄小學校100年誌」を作成した時に実行委員会として活動出来たことなど、様々な思い出が蘇えることが出来ました。「手柄小學校150周年」行事の事ならなんでも、相談に乗ります。協力します。

<p>次回 10月31日（土） 13時30分から</p> <p>内容 セミナー「いつまでも地域で暮らす・地域再発見」</p> <p>講師 夢こらぼ 主宰 松尾 弥生 氏</p>	<p>「地域の担い手を発掘する」を 主題としています。</p>